

# Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局本部

## 〈目 次〉

〈常任理事会報告〉

〈定例理事会報告〉

I 常任理事会報告

II 各種委員会報告

III 事務局報告

〈事務局からのお知らせ〉

## —— 〈 常任理事会報告 〉 ——

**[2012 年 8 月 19 日 (日) 15:00~17:00 (於)お茶の水女子大学文教育学部 1 号館 220 室]**

常任理事会が 8 月 19 日 (日) 15:00~17:00 まで、お茶の水女子大学文教育学部 1 号館 220 室にて開催されました。常任理事 9 名 (欠席 1 名) および事務局 2 名が参加しました。代表理事より「カリキュラム事典編集委員会への覚書」及び「カリキュラム事典に関する提案」の配付資料に基づく説明がなされ、編集準備委員会のこれまでの作業経緯の確認、今後の事典編集のあり方や準備作業などについて議論がなされ、次回理事会で代表理事より結果を報告することになりました。

## —— 〈 定例理事会報告 〉 ——

**[2012 年 11 月 3 日 (土) 14:00~17:00 (於)お茶の水女子大学文教育学部 1 号館第一会議室]**

定例理事会が 11 月 3 日 (土) 14 時から 17 時まで、お茶の水女子大学文教育学部 1 号館第一会議室にて開催されました。理事 20 名 (欠席 10 名)、次期大会校より瀬戸健、松井千鶴子の 2 名および事務局 2 名が参加しました。

### I. 常任理事会報告 (代表理事)

代表理事より 8 月 19 日開催の常任理事会での議論を踏まえ、カリキュラム事典の出版のあり方について提案がなされ、議論がなされた。本理事会での結論としては、これまでの準備委員会の成果を踏まえつつ改めて基本方針を立てるために、理事 5 名からなる「カリキュラム事典検討委員会」をあらためて設置することとした。次回理事会までに全理事により郵送で投票を実施し、5 名を選出することになった。

II. 第23回大会（中部大学）収支決算報告

豊田ひさき理事より、第23回大会（中部大学）の収支決算報告がなされた。会計収支簿を回覧した。

日本カリキュラム学会 第23回大会（中部大学） 決算報告

○ 収入の部

単位：円

項目	決算額	備考
日本カリキュラム学会より	650,000	
参加費(会員)	637,000	182名
参加費(学生会員)	85,000	34名
研究交流会費	352,000	88名参加
広告料	230,000	7件
銀行利息	71	
合計	1,954,071	

○ 支出の部

単位：円

項目	決算額	備考
大会案内 封筒・住所シールタック	7,240	
大会案内 郵送費	54,400	680通
大会プログラム タックシール・印刷製本費	107,250	
大会運営費(腕章、名札、エコバッグ、配布用ボールペン等)	73,057	
大会プログラム 郵送費	96,880	
発表要旨集 印刷製本費	189,000	
学生アルバイト 弁当代	21,500	1食 500円
理事会会場費(名古屋ガーデンパレス)	19,923	
学生アルバイト代	215,000	1日 5,000円
研究交流会代金、飲物代 等	350,159	
看板代金(ハナブン)	36,750	
大学側スタッフアルバイト代	20,000	2名分
スクールバス増発分代金	22,575	
雑費(インク・マスター、お茶、紙コップ、印刷コピー代)	54,312	
中部大学施設使用料	480,000	
振込代金	1,680	
二重振込による、振込代負担(セイワビジネス)	420	
日本カリキュラム学会へ残金返金	201,585	
合計	1,954,071	

○残高 収入－支出 = 1,954,071 - 1,954,071 = 0

以上、相違ありません。

平成24年10月24日

日本カリキュラム学会第23回大会（中部大学）大会事務局長

深谷 圭助



### Ⅲ. 第 24 回大会について

次回大会開催校の上越教育大学の瀬戸健会員より、日程について説明があった。開催日は 2013 年 7 月 5 日（金）～7 日（日）で 5 日に理事会を開催し、6 日と 7 日は例年通り課題研究・公開シンポジウム・自由研究発表を実施する計画が承認された。課題研究をコーディネートする研究委員会の西岡理事と国際交流委員会委員長の磯田理事より、現時点での課題研究のテーマや準備状況について説明がなされた。

なお、開催校より、教職大学院等に所属する現職院生の発表資格についての提案がなされ、参加形態や発表形態について議論がなされた。次回理事会までに開催校で再検討し、再提案することになった。

### Ⅳ. 各種委員会報告

#### (1) 研究委員会（西岡加名恵理事）

研究委員会主催の研究集会の計画について報告された。日時は 2013 年 3 月 23 日、場所は上智大学を予定。内容は若手研究者（大東文化大学 上野正道准教授）の発表と、次期大会校の新潟県内で先進的取り組みを行っている実践校の発表を予定している。なお、大会の課題研究では 4 つの課題研究を研究委員会と国際交流委員会で 3 部会：1 部会で分担するという方針が承認された。

#### (2) 国際交流委員会（磯田文雄委員長）

磯田文雄委員長より『カリキュラム研究』第 22 号掲載の「海外カリキュラム研究情報」の原稿をドイツのゲオルク・エックハート国際教科書研究書副所長フックス氏に依頼し翻訳を終えていること、第 23 号の同原稿に向けての進捗状況が報告された。

#### (3) 広報委員会（工藤文三委員長）

工藤文三委員長より学会と地域の連携事業について、千葉カリキュラム学会の 2 月 9 日定例会を拡大して行う方向で調整していることが紹介された。また、特色ある学校カリキュラムの収集や紹介について委員会で検討し、3 月の理事会で報告することになった。広報委員会が岩手県との間で行った東日本大震災の支援報告が『今を生きる』（東北大学出版会、2012 年 2 月）にまとめられたことについて報告された。

#### (4) 紀要編集委員会（八尾坂修委員長）

八尾坂修委員長より、『カリキュラム研究』第 22 号の投稿論文（15 本）の査読を進める旨の報告があった。同時に、大会課題研究の報告文の提出と図書紹介の推薦を呼びかけた。さらに、図書紹介の推薦締め切りについて、現在の 11 月末日より時期を早めることについて提案された。

#### (5) 研究奨励賞審査委員会報告（八尾坂修委員長）

八尾坂修委員長より今年度も該当者が出ていないことを受け、広く推薦してもらおうという趣旨で、研究奨励賞規定の「7. 審査方法（2）選考は被推薦論文ないし著書の中から2名以上の理事が推薦したものについて行う。」という規定を「1名以上」に改定するという提案がなされ、さらに回答回収方法の工夫などについても議論がなされた。委員長の提案については、規定の改定であることから、総会で議論をすることになった。

## V. 事務局報告

（1）会員現況と寄贈図書の内容報告を行った。なお、7月6日理事会で強制退会者とされた者のうち3名が過年度滞納会費を完納したことにより、強制退会を取り消すことが承認された。

### ■会員現況概要（2012年10月28日時点）

会員総数 731名（一般会員 637名、学生会員 85名、団体会員 9件）

※連絡先不明者 6名、会員一時資格停止者 47名を含む。

### ■新規入会会員（2012年4月1日～10月28日）39名

	入会月日	氏名	所属	区分	推薦者
1	2012/4/11	大西 慶一	大阪女子短期大学	一般	事務局
2	2012/4/17	戸丸 俊文	千葉県柏市立大津ヶ丘第一小学校	一般	事務局
3	2012/4/18	斎藤 真	中部大学	一般	豊田ひさき
4	2012/4/23	岩田 陽子	独立行政法人宇宙航空研究開発機構	一般	事務局
5	2012/4/25	塚原 健太	日本女子大学	一般	橋本美保
6	2012/4/25	金田 裕子	南山大学	一般	相田紘孝
7	2012/4/27	生澤 繁樹	上越教育大学	一般	松下晴彦
8	2012/4/27	藤田 泰夫	上越教育大学 大学院	学生	事務局
9	2012/4/27	買尼沙汗 買買提	大阪市立大学	学生	事務局
10	2012/5/1	國崎 大恩	兵庫教育大学	一般	藤川信夫
11	2012/5/2	佐々木 暢子	大阪大学	学生	事務局
12	2012/5/2	京極 重智	大阪大学大学院 人間科学研究科	学生	事務局
13	2012/5/2	高田 俊輔	大阪大学	学生	藤川信夫
14	2012/5/7	佐久間 敦史	大阪教育大学教職教育研究センター	一般	長尾彰夫
15	2012/5/8	大島 崇	九州大学大学院	学生	田上哲
16	2012/5/10	松井 克行	大阪府立旭高等学校	一般	事務局
17	2012/5/24	小野寺 香	東北大学大学院教育学研究科	学生	事務局
18	2012/5/29	鈴木 そよ子	神奈川大学	一般	事務局
19	2012/6/1	サルカール アラニ・モハメド レザ	帝京大学	一般	的場正美
20	2012/6/4	中村 元隆	日本外国語専門学校	一般	事務局

21	2012/6/5	松井 典夫	大阪教育大学附属池田小学校	一般	長尾彰夫
22	2012/6/5	奥野 浩之	相愛大学	一般	事務局
23	2012/6/7	藤田 雄飛	九州大学大学院人間環境学研究院	一般	事務局
24	2012/6/8	木場 裕紀	東京大学大学院教育学研究科	学生	事務局
25	2012/6/8	新谷 裕	名古屋大学教育発達科学研究科	学生	的場正美
26	2012/6/8	橋本 美彦	中部大学	一般	豊田ひさき
27	2012/6/8	小笠原 豊	中部大学	一般	豊田ひさき
28	2012/6/12	岡田 広示	兵庫教育大学	一般	事務局
29	2012/6/12	本間 学	中村学園大学	一般	田村知子
30	2012/6/14	福村 美希	名古屋市立工芸高等学校	一般	的場正美
31	2012/6/18	須田 昂宏	名古屋大学大学院教育発達科学研究科	学生	的場正美
32	2012/6/19	齊藤 義宏	岩手県教育委員会事務局学校教育室	一般	村川雅弘
33	2012/6/22	仲西 長代	香川大学教育学部附属高松小学校	一般	事務局
34	2012/6/26	伊倉 剛	刈谷市立朝日中学校	一般	的場正美
35	2012/7/12	秦 東興	名古屋大学大学院教育発達科学研究科	学生	事務局
36	2012/7/18	荒木 寿友	立命館大学	一般	事務局
37	2012/8/29	野添 生	広島大学附属東雲中学校	学生	事務局
38	2012/8/29	三浦 和美	東北福祉大学	一般	事務局
39	2012/9/19	中島 夏子	東北工業大学 共通教育センター	一般	水原克敏

■退会者（2012年4月1日～10月28日）19名

	退会日	氏名	所属	区分
1	2012/3/31	内藤 義弘	鯖江市中央中学校	一般
2	2012/4/1	宍戸 健夫	同朋大学社会福祉学部	一般
3	2012/5/8	松本 勝哉	九州産業大学工学部電気情報工学科	一般
4	2012/5/8	浅野 浅春	関西外国語大学国際言語学部	一般
5	2012/5/8	福田 学	新潟大学教育学部	一般
6	2012/6/11	鳥居 靖之		一般
7	2012/6/11	松本 修二	モンテッソーリ教育環境心理学研究所	一般
8	2012/6/11	松本 博史	神戸女子大学	一般
9	2012/6/11	東 仁美	聖学院大学	一般
10	2012/6/11	牧田 守弘	早稲田大学大学院教育学研究科	学生
11	2012/6/12	梶本 嘉男	大阪教育大学大学院教育学研究科	学生
12	2012/6/12	藤本（林）朋美		一般
13	2012/6/14	仲谷 富美夫	滋賀県総合教育センター	一般

14	2012/6/18	鈴木 裕	笠間市立友部小学校	一般
15	2012/6/25	佐橋 正司	幸田町立南部中学校	一般
16	2012/6/27	片山 紀子	国土舘大学	一般
17	2012/7/3	古賀 修治	山田市立山田小学校	一般
18	2012/7/17	二見 美佐子	東京都目黒区立不動小学校	一般
19	2012/8/13	宮前 桂子	吹田市立吹田東小学校	一般

## (2) 会計経過報告

2012年度会計の執行状況の中間報告を行った。なお、第23回大会開催校の中部大学の豊田ひさき理事より大会経費の残金の返金の申し出があった。この扱いについて議論を行い、2012年度の「収入の部」の中に「大会経費残金返金」項目を作成することにした。

この議論の中で、2011年大会開催校の北海道大学でも大会経費の返金があったにもかかわらず、それが会計に反映されていなかったことについて大野栄三理事より指摘がなされ、過去の大会開催校でも同様であったという意見が複数だされた。今後は大会経費の返金は会計表に反映させることになった。当面、2011年度の決算報告と2012年度の予算案について、予算項目の名称変更も含め、事務局で修正と再検討を行うことになった。

さらに、この議論の経過の中で、2010年9月発行のニュースレター56号中の2010年度決算報告(5ページ)と2011年度予算報告欄(6ページ)で、大会数のカウントに誤記があることが判明し、修正を行うことが承認された(当ニュースレター<事務局からのお知らせ>の中で修正カ所を明記)。

## (3) 教育学関連学会連絡協議会(仮称)結成準備会参加報告

10月8日(月)に東京大学で開催された教育学関連学会連絡協議会(仮称)結成準備会について、配布された資料をもとに説明を行った。協議会に正式に参加はすることとし、参加する代表者について意見が交わされた。

## —— 〈 事務局からのお知らせ 〉 ——

### (1) ニュースレター第56号の誤記につきまして

「V. 事務局報告」の(2)にありますニュースレター第56号について、下記の修正があります。学会ホームページにおきましても掲載いたします。

5ページ	第21回大会年度(2010年度)活動報告における決算報告	支出の部
	×第22回大会経費	→ ○第21回大会経費
6ページ	第22回大会年度予算	支出の部
	×第23回大会経費	→ ○第22回大会経費

(2) 寄贈図書一覧 (2012年7月1日～2012年12月22日 事務局到着分)

	書名	著者	出版社	奥付日付
1	大学のカリキュラムマネジメント ー理論と実際	中留武昭	東信堂	2012/8/20
2	子どもの発達と脳科学 ーカリキ ュラム開発のために	安彦忠彦 (編著)	勁草書房	2012/8/25
3	学生と教師のための現代教育課程 論とカリキュラム研究	臼井嘉一、金井香里 (編著)	成文堂	2012/9/30
4	教師になること、教師であり続ける こと	グループ・ディダクティカ (編)	勁草書房	2012/9/30
5	教師のゲートキーピング	スティーブン・J・ソーントン	春風社	2012/10/1
6	アメリカ教育改革の最前線ー頂点 への競争	北野秋夫、吉良直・大桃敏行 (編 著)	学術出版会	2012/10/25
7	新しい時代の教育方法	田中耕治・鶴田清司・橋本美保・ 藤村宣之 (編著)	有斐閣	2012/12/15

(3) 平成24年度 (2012年度) 分会費納入のお願い

今年度分の年会費が未納の方は、納入をお願いします。10月29日時点での**2012年度会費の納入率は78.5%、2011年度会費の納入率は92.2%**です。納入促進に会員のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。年会費を滞納しますと、学会誌が送付されなくなりますと同時に、大会での発表資格・学会誌への投稿資格を失いますので、ご注意願います。

会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、些細な点でも結構ですので、ご遠慮無く(株)国際文献社内・日本カリキュラム学会会員窓口までお問い合わせください。よろしく願い致します。(年会費：一般 8,000円、学生 5,000円、団体 10,000円)

**【 入・退会、年会費納入、会員 web 管理、会報発送等各種問い合わせ先 】**

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

**(株) 国際文献社内 日本カリキュラム学会会員窓口**

TEL : 03-5389-6213

FAX : 03-3368-2822

E-mail: jscs-post@bunken.co.jp

**【 上記以外の学会運営に関する問い合わせ先 】**

〒112-8610

東京都文京区大塚 2-1-1

お茶の水女子大学 文教育学部 人間社会科学科

日本カリキュラム学会事務局本部 富士原紀絵

E-mail: jscs@nifty.com

**【 学会ホームページ 】**

URL : <http://homepage3.nifty.com/jscs/>